

交

い

かいじあむ通信  
kai

第49号

2019年2月17日発行  
山梨県立博物館

武田信虎画像(部分)  
大泉寺蔵

# 山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum



# 江戸時代の甲府を 探検してみよう。



**武田氏館跡**  
(躑躅ヶ崎館)  
一五一九年、  
武田信虎が建設  
\*現在の武田神社

甲府の  
始まりじゃ!

**武田信玄の墓**

**法泉寺**  
和田村

**湯村温泉**

**上府中**  
(古府中)

甲府の水はここから  
引いていました  
**甲府上水**

これぞ甲府の  
花盛り

現在の  
甲府駅は  
この辺り

復元されました!  
**山手御門**

甲府城は私が  
完成させました

**甲府代官陣屋**

**下府中**  
(新府中)

現在の金手の  
クランク

現在は  
この辺りに  
印傳博物館  
があります

跡地が見られます  
**二の堀**

**追手御門**

江戸時代の終わりに  
堀が埋められ、  
新しい街が  
作られました

江戸時代の  
メインストリート  
**柳町**

**甲州街道**  
江戸と結ぶ道

「甲府八日町  
正月初売之景」  
に描かれた升屋  
(お栗子屋さん)

# 県都甲府の 500年



2019.3.16(土) ~ 5.13(月)

山梨県のほぼ中央に位置する甲府。武田信虎がここに本拠を移したのは、永正16年(1519)のことでした。この500年間の甲斐国・山梨県の政治・経済・文化の流れについて、「甲府」をひとつの切り口として紹介します。

柳吉保画像(一蓮寺蔵)、浅野長政画像(東京大学史料編纂所蔵模写)  
懷宝甲府絵図、武田信虎画像、甲府八日町正月初売之景、武田信玄画像(以上当館蔵)  
\*いずれも部分

学芸員  
おすすめの一品  
収蔵資料の見どころを  
ご紹介します。

## 魅力がいっぱい！富士山ガイドマップ 『富士山真形平絵図』 明治8年(1875)頃

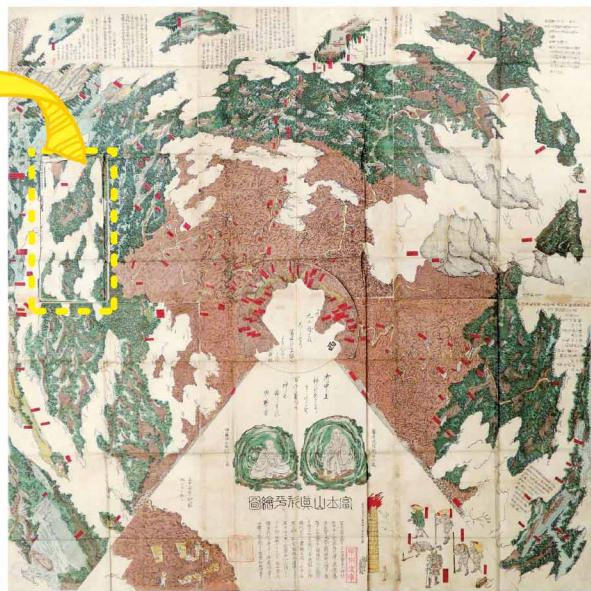
江戸時代、富士山に登ってご利益を得ようとする富士山信仰(富士講)が大流行！以降、数多くのガイドマップが作成されました。そのひとつ『富士山真形平絵図』は、各登山口から頂上までの行き方や周辺の名所を工夫しながら紹介しています。

紙をめくると  
「御胎内」が！



### パワースポット！ 「御胎内」で生まれ変わり！

「御胎内」とは溶岩が樹木を包んで固まってできた空洞のこと。お母さんのお腹の中に似ていることから、そこをめぐると生まれ変わるといわれています。



### 富士山信仰の2大レジェンド！

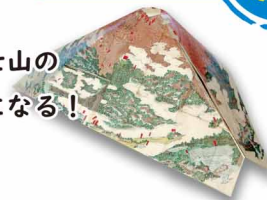
藤原武邦(長谷川角行)は、戦国時代、富士の人穴・白糸の滝(富士宮市)などでの修行により霊力を身につけ、人々を救済！なんと106歳の長寿！



伊藤伊兵衛(食行身禄)は角行の弟子。富士山八合目で断食を行いそのまま入定…。江戸時代の人々に正直と慈悲の大切さを伝えて、救世的な存在に！



### 折ると富士山の 立体模型になる！



### イベント情報も掲載

「吉田の火祭」(富士吉田市)  
毎年8月26日(絵図では旧暦の日付)に北口本宮富士浅間神社で開催。燃え盛る炎が夏の登山シーズンのフィナーレを飾ります。



常設展  
「水に取り組み」

この期間に  
会える！  
2月20日～  
4月22日

## 山梨オリジナル端午の節供飾り

### 『おかぶと(かなかんぶつ)』 江戸末～明治時代

#### 「おかぶと」ってなに？

甲斐国独特の五月の節供飾りです。張り子の技法を用いて紙で作られていて、専用の支柱や鴨居にかけて飾りました。現在見られるような五月武者飾りの初期の形態をとどめていると考えられ、全国的にみても大変貴重な資料です。



メン(顔)

タレ(胴体)



#### 今もあるの？

明治時代に民俗的な習慣が禁止されたり、縮小化されたりしたためになくなりました。東京風の節供人形が流通するようになった影響ともいわれています。

#### どんな種類があったの？

メン(顔)は信玄や勝頼などの武将が人気だったようですが、ほかにも役者や天狗、恵比寿・大黒などたくさんの種類がありました。なかには般若のような変わり種もあったようです。



甲府買物独案内(江戸時代、当館蔵)

#### 誰が作っていたの？

甲府の雛問屋が作っていました。江戸時代の終わりころには4軒の雛問屋があり、なかでも横沢町にあった雛問屋「松城屋太良右工門」が「おかぶと」の元祖だったとのことです。

#### お面じゃないの？

元々は飾りとして作られていましたが、次第に子どもの玩具としても用いられるようになりました。目の部分に穴が開けられていたり、顔にかけるための紐を付けて改造を加えたりした「おかぶと」も見られます。

目に穴が開けて  
あります。



#### 常設展テーマ展示

県立博物館では、約2か月ごとにテーマを変えて、常設展の展示替えをしています。

##### 「富士山、信玄、春らんまん」

桜舞う春のなか、山梨の象徴である富士山と武田信玄にまつわる資料をどうぞご覧あれ！

2.20[水]～4.22[月]

##### 「やまなしの豊かな食文化」

山梨といえばフルーツ！海がなくてもマグロなどの海産物も大好き！今夜は甲州ワインで乾杯！そんなこだわりの食文化を紹介します。

4.24[水]～7.22[月]

##### 「ようこそ！かいじあむ動物ワールドへ」

みんなの周りにはどんな動物がいるかな？昔の山梨には人とともに生活してきた多くの動物がいたよ。そんな動物たちを資料と作品を通して探してみよう！

7.24[水]～10.22[火]

常設展  
「里に暮らす」  
\*展示資料の種類は  
変わります。

この期間に  
会える！  
4月24日～  
10月22日

シンボル展 2019.5.25[土]～6.24[月]

県指定文化財 **大善寺 不動明王像**

一県下最大級の画像、修理後寺外初公開



不動明王像（部分、大善寺蔵）

甲州市勝沼の大善寺は、平安時代9世紀に遡る古刹で、当地の有力氏族三枝氏に縁の寺院として知られています。当寺には12世紀頃の制作と考えられる縦445cm、横340cm程にも及ぶ絹本著色の不動明王像が伝えられますが、現在描かれている内容ははっきりしません。しかし幸いなことに、江戸時代に描かれた、ほぼ同じ大きさの模写が伝わっています。このほど模写は修理され、鮮明な姿が蘇りました。本展では、本作を寺外で初めて公開するとともに修理の過程についても紹介します。

夏期企画展 2019.7.13[土]～9.2[月]

すごすぎる！  
**ねこ展**  
～ヒトとネコの  
出会いと共存の歴史～

ヒトとネコは古くから密接な関係にあり、現代ではペットとしても身近な存在になっています。特に養蚕業においては、ネコはネズミ駆除のために必要な動物であり、時に信仰の対象にもなってきました。本展では、ヒトの生活に寄り添って生きてきたネコに焦点をあて、化石や剥製、様々な歴史資料からネコの誕生と進化やヒトとネコの長い歴史をたどります。人気猫写真家沖昌之氏の写真も多数特別展示します。



おねこさんのお札（当館蔵）

秋期企画展 2019.10.12[土]～11.25[月]

**法然上人絵伝**～親鸞が追い求めた師の姿～

当館所蔵の法然上人絵伝（重要文化財）は現存する最古級の法然上人絵として名高く、山梨で浄土真宗の勢力拡大の拠点であった万福寺（甲州市）に伝わったことなどから注目を集めています。本展では、修理を行った本作を初公開し、その主題である法然、また弟子である親鸞など、浄土信仰にまつわる資料を紹介するとともに、本作が伝来した万福寺や、山梨の浄土真宗の展開などについても紹介します。



法然のもとを阿彌陀三尊が訪れる（法然上人絵伝 第2幅部分、当館蔵）

シンボル展 2019.12.21[土]～2020.2.24[月]

**甲州屋忠右衛門の冒険**

時は幕末、安政6年(1859) 横浜開港に際して、甲州屋を出店して生糸を外国人に売り込み、大きな利益を得たのが篠原忠右衛門(甲州屋忠右衛門)です。本展では、時代の変化に対応して、地元の生産物売り込んでいった彼ら甲州商人の活躍ぶりにスポットを当て、その先見性や行動力について紹介します。

春期企画展 2020.3.14[土]～5.11[月]

**北斎漫画**～驚異の目、驚異の筆～

世界的に有名な江戸の浮世絵師葛飾北斎。2020年に生誕260年を迎える彼の代表作のひとつが『北斎漫画』です。本展では、世界有数のコレクター・浦上満氏のコレクションから、よりすぐりの約200点を紹介し、その魅力に迫ります。

**イベントのご案内** 2019.4月～9月

③ **常設展スルーガイド**

常設展のガイドツアーです。  
毎週土曜日 11:00～11:30

● **館長トーク**

当館の守屋正彦館長による講座です。  
開催日 4/21、6/16、8/18  
時間 13:30～15:00

● **かいじあむ古文書講座**

初めて古文書学ぶ方のための講座です。  
開催日 4/27、5/25、6/22、7/27、8/24、9/28  
時間 13:30～15:00  
\*申込み (TEL055-261-2631)

● **かいじあむ子ども工房**

博物館ならではの体験や工作ができます。  
開催日 4/13、5/11、6/8、7/13、8/10、9/14

⑤ **遊ぼう!学ぼう!寺子屋ひろば**

展示や歴史を楽しみながら学べる体験イベントです。  
毎週日曜日 11:00～11:30

● **ボランティアによる お庭の見どころガイド**

四季折々の博物館のお庭を散策します。  
開催日 4/20、5/18、6/15、7/20、8/17、9/21  
時間 13:30～14:30

● **古文書相談日**

お手持ちの古文書についての相談を承ります。  
開催日 5/12、7/14、9/8  
時間 10:00～13:00  
\*古文書の全文解読や、資料の鑑定など、お受けできない内容もあります。  
\*申込不要ですが、事前のご連絡があれば対応がスムーズです。  
(TEL055-261-2631)

□ **その他イベント** \*イベント毎に内容は異なります。

- ・かいじあむ こどもまつり 5/4・5
- ・夏休み自由研究プロジェクト 合同プレゼン 7/15(海の日) \*会場はアイメッセ山梨です。
- ・かいじあむの夏まつり 8/14・15

2019年

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						
県都甲府の500年 3/16～5/13							大善寺 不動明王像 5/25～6/24													
7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3								
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

ねこ展 ～ヒトとネコの出会いと共存の歴史～ 7/13～9/2

- 休館日
- 館長トーク
- 古文書講座
- 古文書相談日
- 子ども工房
- お庭の見どころガイド
- その他イベント

各イベントの詳細は当館ホームページなどでご確認ください。日程や内容は事情により変更になることがあります。



山梨県立博物館の旬な話題をお届け！

# かいじあむトピックス

## 教室でタイムトラベル!?「博物館の出前授業」

山梨県立博物館の大切な仕事のひとつに、学校施設などへの出前授業があります。山梨県内の歴史についての話や、昔の人が使った道具の体験などのプログラムをおこなっています。なかでも「昔の暮らし」の授業では、子どもたちに昭和30年代の生活体験を通じて、教室でのタイムトラベルをしてもらっています。現代の人々が何気なく済ませている洗濯や料理、お風呂などを、ガスや電気、水道のない時代の人々がどのようにおこなっていたのかを知ることは、暮らしの移り変わりに気づく機会にもなっているようです。



今年の5月には平成も終わり、新しい元号に変わります。いつか平成の生活を「昔の暮らし」の授業であつかう時代が来るかもしれません。山梨県立博物館の出前授業に参加した子どもたちは、どのような未来をつくっていくのでしょうか。

## 山梨の歴史・文化・自然について調べてみよう！ 「地域情報インデックス」

山梨県立博物館には、県内の歴史・文化・自然を「テーマ」、「市町村」、「コース」、「キーワード」などの切り口から検索できる「地域情報インデックス」コーナーがあります。お勤めの地域めぐりコースや、検索したキーワードに関連する県内の史跡・文化財などを見ることができます。みなさんも「地域情報インデックス」をきっかけに、山梨を探検してみてくださいいかがでしょうか。



### 利用案内

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)

\*4/30、8/13は開館。9/11～13は休館。

観覧料 常設展：一般510円、大学生210円

\*高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。

\*企画展には別途観覧料が必要です。県外在住の65歳以上の方は企画展観覧料が必要です。

かいじあむ通信「交い」第49号

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

Tel: 055-261-2631 Fax: 055-261-2632

E-mail: kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

URL: <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

発行日: 2019年2月17日

編集・発行: 山梨県立博物館



ホームページQRコード



山梨県の古い国名「甲斐国」の語源は街道と街道の結節点を意味する「交ひ(かい)」であるという説があります。山梨県立博物館が「甲斐」の博物館にふさわしく、人々や情報の交流の拠点となることを願ってこの名前をつけました。